

# 予 算 決 算 委 員 会 会 議 録

## 招 集

令和2年3月18日(水) 午前10時 議場

## 出席委員(25名)

(委員長) 岡 田 啓 介	(副委員長) 矢田貝 香 織		
安 達 卓 是	石 橋 佳 枝	伊 藤 ひろえ	稲 田 清
今 城 雅 子	岩 崎 康 朗	遠 藤 通	岡 村 英 治
奥 岩 浩 基	尾 沢 三 夫	門 脇 一 男	国 頭 靖
田 村 謙 介	土 光 均	戸 田 隆 次	中 田 利 幸
西 川 章 三	前 原 茂	又 野 史 朗	三 鴨 秀 文
矢 倉 強	安 田 篤	渡 辺 穰 爾	

## 欠席委員(0名)

### 説明のため出席した者

伊木市長 伊澤副市長

【総務部】辻部長

[財政課] 下関課長 足立総括主計員

【総合政策部】八幡部長

【市民生活部】朝妻部長

【福祉保健部】景山部長

【経済部】杉村部長

【都市整備部】錦織部長

【下水道部】矢木部長

【淀江支所】高橋支所長

【教育委員会】浦林教育長

【水道局】細川局長

### 出席した事務局職員

先灘局長 長谷川次長 瀬尻局長補佐 森井担当局長補佐 安東主任

### 傍聴者

報道機関 なし 一般 2人

### 審査事件

議案第2号	専決処分について(令和元年度米子市下水道事業会計補正予算(補正第2回))	[原案承認]
議案第27号	令和元年度米子市一般会計補正予算(補正第4回)	[原案可決]
議案第28号	令和元年度米子市国民健康保険事業特別会計補正予算(補正第2回)	[原案可決]
議案第29号	令和元年度米子市駐車場事業特別会計補正予算(補正第2回)	[原案可決]
議案第30号	令和元年度米子市介護保険事業特別会計補正予算(補正第4回)	[原案可決]
議案第31号	令和元年度米子市後期高齢者医療特別会計補正予算(補正第2回)	[原案可決]

議案第 3 2 号	令和元年度米子市水道事業会計補正予算（補正第 1 回）	[原案可決]
議案第 3 3 号	令和元年度米子市下水道事業会計補正予算（補正第 3 回）	[原案可決]
議案第 3 4 号	令和 2 年度米子市一般会計予算	[原案可決]
議案第 3 5 号	令和 2 年度米子市国民健康保険事業特別会計予算	[原案可決]
議案第 3 6 号	令和 2 年度米子市土地取得事業特別会計予算	[原案可決]
議案第 3 7 号	令和 2 年度米子市駐車場事業特別会計予算	[原案可決]
議案第 3 8 号	令和 2 年度米子市市営墓地事業特別会計予算	[原案可決]
議案第 3 9 号	令和 2 年度米子市介護保険事業特別会計予算	[原案可決]
議案第 4 0 号	令和 2 年度米子市後期高齢者医療特別会計予算	[原案可決]
議案第 4 1 号	令和 2 年度米子市米子インター周辺工業用地整備事業特別会計予算	[原案可決]
議案第 4 2 号	令和 2 年度米子市水道事業会計予算	[原案可決]
議案第 4 3 号	令和 2 年度米子市工業用水道事業会計予算	[原案可決]
議案第 4 4 号	令和 2 年度米子市下水道事業会計予算	[原案可決]

~~~~~

### 午前 10 時 00 分 開会

○岡田委員長 ただいまから、予算決算委員会を開会いたします。

本委員会に付託されました議案第 2 号及び議案第 2 7 号から議案第 4 4 号までの 1 9 件を一括して議題といたします。

なお、議案第 3 4 号令和 2 年度米子市一般会計予算の 4 款衛生費、1 項保健衛生費、1 目保健衛生総務費のうち、「米子で出産しませんか」事業について、市長から議長に対して、3 月 1 6 日付で変更の申し出がありましたので、本日はその変更後の内容により審査いたします。

それでは、1 9 件の議案について、分科会の審査報告を求めます。

初めに、安田民生教育分科会長。

○安田民生教育分科会長（登壇） 民生教育分科会の審査報告をいたします。

当分科会の審査担当とされました議案 8 件について、去る 1 6 日に審査をいたしましたので、その主な内容を報告いたします。

まず、議案第 2 7 号令和元年度米子市一般会計補正予算補正第 4 回のうち、当分科会所管部分について、議案第 2 8 号令和元年度米子市国民健康保険事業特別会計補正予算補正第 2 回、議案第 3 0 号令和元年度米子市介護保険事業特別会計補正予算補正第 4 回、議案第 3 1 号令和元年度米子市後期高齢者医療特別会計補正予算補正第 2 回については、いずれも特に報告すべき事項はありませんでした。

次に、議案第 3 4 号令和 2 年度米子市一般会計予算のうち、当分科会所管部分については、審査にあたり 4 款衛生費、1 項保健衛生費、1 目保健衛生総務費のうち、「米子で出産しませんか」事業について、市長から議長に対して、3 月 1 6 日付で、変更の申し出があり、その変更後の内容により審査をいたしました。

事業名変更後の「安心マタニティサポート」事業について、対象者を具体的に明示することで本当に支援が必要な方でも対象にならない可能性があることから、その他、市長がこの目的に照らして適切と認めるものを入れるなどの対応をされたいという意見がありました。

また、敬老事業費補助金交付事業について、地域の福祉計画を進めるうえで柔軟に予算を使

っていただけるよう考えられたい。また、検討状況の報告もされたいとの意見がありました。

次に、議案第35号令和2年度米子市国民健康保険事業特別会計予算、議案第39号令和2年度米子市介護保険事業特別会計予算、議案第40号令和2年度米子市後期高齢者医療特別会計予算については、いずれも特に報告すべき事項はありませんでした。

以上、報告を終わります。

**○岡田委員長** 次に、稲田都市経済分科会長。

**○稲田都市経済分科会長**（登壇） 都市経済分科会の審査報告をいたします。

当分科会の審査担当とされました議案12件について、去る17日に審査いたしましたので、その主な内容を報告いたします。

まず、議案第2号専決処分について、令和元年度米子市下水道事業会計補正予算補正第2回、議案第27号令和元年度米子市一般会計補正予算補正第4回のうち、当分科会所管部分及び議案第29号令和元年度米子市駐車場事業特別会計補正予算補正第2回については、いずれも特に報告すべき事項はありませんでした。

次に、議案第32号令和元年度米子市水道事業会計補正予算補正第1回については、日下水源地電気機械設備更新事業の減額補正において、厳格な進捗管理と適切な監督指導をされたいとの意見がありました。

次に、議案第33号令和元年度米子市下水道事業会計補正予算補正第3回については、特に報告すべき事項はありませんでした。

次に、議案第34号令和2年度米子市一般会計予算のうち、当分科会所管部分については、道路新設改良事業においては、道路用地を寄附により取得されているが、日本中央競馬会事業所周辺環境整備事業及び特定防衛施設周辺整備調整交付金事業においては、用地買収により取得されており、道路行政に対する市民の不公平感が生じているため、是正されたいとの意見がありました。

また、市営住宅に係る予算においては、特に空き室を解消する施策を進められたいとの意見がありました。

次に、議案第37号令和2年度米子市駐車場事業特別会計予算、議案第38号令和2年度米子市市営墓地事業特別会計予算、議案第41号令和2年度米子市米子インター周辺工業用地整備事業特別会計予算、議案第42号令和2年度米子市水道事業会計予算、議案第43号令和2年度米子市工業用水道事業会計予算及び議案第44号令和2年度米子市下水道事業会計予算については、いずれも特に報告すべき事項はありませんでした。

以上、報告を終わります。

**○岡田委員長** それでは、ただいまの分科会長の報告に対する質疑に入ります。

別のないものと認め、質疑を終結いたします。

これより、討論に入ります。討論の通告がありますので、発言を許します。岡村委員。

**○岡村委員**（登壇） おはようございます。日本共産党米子市議団の岡村英治です。私は議案第27号及び議案第34号の原案可決に反対し、否決を求めて討論いたします。

令和2年度一般会計予算の「予算編成の基本的な考え方」の冒頭部分で「国は、アベノミクスの推進により日本経済は長期にわたる回復を持続させており、地方における経済においても厳しいながらも好循環の前向きな動きが生まれ始めているとして、この好循環を更に持続・拡大させていく」と書き込んでいます。

しかし、実際は、先ごろ改定値が発表された昨年10月から12月期のGDPにおいて、速報値で出されていた年率マイナス6.3%をさらに下回るマイナス7.1%となったこ

とは、御承知のとおりです。家計消費も減少し続けている。さらに新型コロナウイルス感染拡大で国も地方も大打撃を受けています。こういった実態と大きく乖離した認識で新年度予算を編成したとしたら、市民の切実な願いは届かない、こう言わざるを得ません。

まず、議案第27号令和元年度米子市一般会計補正予算補正第4回についてです。小学校・中学校校内通信ネットワーク整備事業、小学校は4億9,400万円、中学校は2億2,800万円です。この突如として補正予算で計上された校内通信ネットワーク整備事業は、国の経済財政諮問会議で安倍首相が「パソコンが1人当たり1台となることが当然だということを、国家意思として明確に示す」と発言したことを受け、経済対策としてGIGAスクール構想の実現、2,318億円を含む国の補正予算を受けたものです。しかし、教職員の間からは、教育のICT化や1人1台端末が子どもと教育に及ぼす効果や影響についての研究、検証も十分でないままに導入を強行するものだとの懸念の声が上がっています。子どもと教育への影響についての検討を後回しにし、とにかく国家プロジェクトとして位置づけ、公教育への民間産業の参入を促進する経済対策としてやみくもに導入に突き進み、学校現場に混乱を持ち込むことは許されません。まず、やるべきことは、教員の大幅な増加で、児童・生徒一人一人に向き合う教育を実現することです。

次に、議案第34号令和2年度米子市一般会計予算についてです。マイナンバーカード取得促進事業3,200万円計上されています。特設ブースを設け、国言いにマイナンバーカードの市民普及を図っていこうとするものです。国家統制の手段としてマイナンバーが使われるおそれがあると指摘してきましたが、先ごろ、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、国内でマスクが品薄状態が続いていることをめぐって国会で議論された際、台湾ではマスクを実名で購入する制度や、購入履歴による買い占め防止などを行っているという話が出され、マイナンバーカードが普及すれば、ICチップを使ってマスクを1人幾つとかを管理できるなど、まさに国家統制のためにマイナンバーがある、そうしたことが如実に示されました。紛失や盗難なども含め、カード化することで危険性が増大します。個人番号カード関連事業8,800万円を含め、市民にとって利益よりもリスクを拡大させることは認められません。

次に、公立保育所整備事業に6,800万円計上されています。市立保育園の統廃合・民営化の先駆けとして淀江・宇田川両保育園を統合し、老人施設に隣接する市有地に令和3年度に新園舎を建設するため、2年度は基本・実施設計、地質調査などを行おうとするものです。保護者や地域住民の参画が保育の質を高める、子どもの成長が地域で見ることができるのが最大の子育て支援、このように指摘されています。このたびの淀江・宇田川両保育園の統合がそうした地域からの見守りを遠ざけてしまわないか危惧するところです。予算が可決される前に、既に準備行為として行われているプロポーザル募集要領には、仮に議会で予算が否決された場合にどうするか、などの記述がありませんでした。事務的な手違いということですが、ここには何が何でも統合ありきと市民の声に耳を傾けることなく拙速に事を進めようとする姿勢のあらわれがあります。市立春日保育園と社会福祉法人米子福祉会の巖保育園の統合に向けて、巖保育園の改築工事に対する補助金2億1,540万円が債務負担行為として計上されていることも、地域住民に十分な説明、納得もなしに強引に進めようとしている事業であり、認められません。

次に、米子駅南北自由通路等整備事業に約14億円もの予算が計上されています。JR米子駅南北自由通路の本体工事にいよいよ着手となるわけですが、工事請負費9億4,900万円余り、JRの移転補償費4億4,600万円余りと巨額の税金がつぎ込まれるこ

とになります。市民の貴重な税金を使う以上、その税金の使い道の透明性、工事発注に際しての発注金額の妥当性はきちんと担保することを求めます。工事はJRの関連企業に発注され、透明性、競争性に欠けることが心配されます。議会や市民に十分納得がいく説明がなされることを求めています。

最後に、「安心マタニティサポート」事業964万5,000円です。少子化対策、中絶数の減少を図るとした当初の事業計画に対し、「女性は産む道具ではない、産む、産まないは個人の権利、中絶は悪だというのか」と多くの批判が寄せられました。議会からも疑問の声が上がりました。これに対し、機敏に対応し今議会で大幅な目的の変更、事業内容の改善がなされたことは評価したいと考えます。

また、小学校・中学校の準要保護児童・生徒就学援助事業において、新入学用品費など国基準に合わせて増額が図られました。低所得家庭にとって朗報となりました。

学校給食の食材の小麦を従来の外国産から原産・国産に切りかえることについても、子どもの食の安全面からも、また地産地消という観点からも歓迎したいと思います。

以上、前進面は評価しながらも、議案第27号令和元年度米子市一般会計補正予算補正第4回と議案第34号令和2年度米子市一般会計予算の二つの予算案に反対する討論いたします。

なお、高校生通学費助成制度は、月額通学定期代が7,000円を超えた部分としていますが、ぜひとも県が4分の1補助するとしている7,000円未満でも助成するよう拡充を求め、またインフルエンザ予防接種事業において、子どもの接種についての助成も実施されるよう求めて討論を終わります。

**○岡田委員長** 以上で、通告による討論は終わりました。

ほかに討論はありませんか。

ほかにないものと認め、討論を終結いたします。

これより、19件の議案を順次採決いたします。

初めに、議案第2号、議案第28号から議案第33号まで及び議案第35号から議案第44号までの、以上17件の議案を一括して採決いたします。

17件の議案について、それぞれ原案のとおり承認及び可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と声あり〕

**○岡田委員長** 御異議なしと認めます。

よって、17件の議案は、それぞれ原案のとおり承認及び可決すべきものと決しました。

次に、議案第27号令和元年度米子市一般会計補正予算補正第4回を採決いたします。

本件について、原案のとおり可決することに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成者起立・・・安達委員、伊藤委員、稲田委員、今城委員、岩崎委員、遠藤委員、奥岩委員、尾沢委員、門脇委員、国頭委員、田村委員、土光委員、戸田委員、中田委員、西川委員、前原委員、三嶋委員、矢倉委員、安田委員、矢田貝委員、渡辺委員〕

**○岡田委員長** 起立多数であります。

よって、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第34号令和2年度米子市一般会計予算を採決いたします。

本件について、原案のとおり可決することに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成者起立・・・安達委員、伊藤委員、稲田委員、今城委員、岩崎委員、奥岩委員、尾沢委員、門脇委員、国頭委員、田村委員、土光委員、戸田委員、中田委員、西川委員、

前原委員、三嶋委員、矢倉委員、安田委員、矢田貝委員、渡辺委員]

○**岡田委員長** 起立多数であります。

よって、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、本委員会に付託されました議案の審査は終了いたしました。

これをもちまして、予算決算委員会を閉会いたします。

**午前 10 時 18 分 閉会**

米子市議会委員会条例第 29 条第 1 項の規定により署名する。

予算決算委員長 岡 田 啓 介